



# ほんものを たべよう

Alter Weekly Order Catalogue

2019.3月3週号

提出日

3/ 火 水 木 金  
5 6 7 8

配達日

3/ 火 水 木 金  
12 13 14 15

翌々週分配達日

3/ 火 水 木 金  
19 20 21 22

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

○「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。

○「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。

○原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。

○プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

## 健康応援

# 糖流茶(煎じ茶)が お湯を注ぐだけの 粉末茶になりました

生活習慣の改善にお試しください。



宮城 春江代表

## (有)アロエランド

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)

### 短期間で検査結果が改善

(有)アロエランド、宮城 春江代表は、煎じるタイプの糖流茶を、カップにお湯を注ぐだけでより手軽に利用できる「糖流アロエ茶 いのちのお守り」へと新たな改良を加えました。

オルターカタログ2017年5月2週号において、「糖尿病に朗報、糖流茶」をご紹介しました。糖流茶とはアロエベラ、カキドオシ、カワラケツメイの3種の野草茶を配合したもので、いずれも昔から民間で健康茶として語り継がれているお茶です。

糖流茶については多くの体験談が寄せられています。それらをオルター通信などでご紹介していく予定です。短期間(1~4ヶ月)で病院での検査で結果が出ています。高血糖・高血圧・花粉症・高脂血症などで悩まれている方はお試しください。

### 煎じる手間が省けます

従来の糖流茶の飲用方法は、糖流茶1袋を1.5Lの沸騰したお湯で1~2分煮出して、火を止め、1日500ccとして3日分飲用するというものです。

もちろん、このままでもよいのですが、なかなかこの煎じるという作業が煩わしいため、つい飲むのを忘れてしまうという方からの要望で、今回ご紹介する、「糖流アロエ茶 いのちのお守り」が開発されました。

分包に入っている糖流茶粉末1包をカップに入れ、150~300 ccのお湯を注ぐだけです。たいへん飲みやすく、コーヒー感覚で飲めます。冷めてもおいしく召し上がれます。毎日1~3杯飲むだけでたいへんかんたんです。母乳がよく出るという体験談も寄せられています。

### 原料は農薬不使用

「糖流アロエ茶 いのちのお守り」は糖流茶同様、農薬を使用せず栽培された「カワラケツメイ」「カキドオシ」「アロエベラ果肉」が主成分です。それに(有)アロエランド自園農園で農薬を使用せずに栽培された「ピワ葉」、さらに「有機ココア」と「マグマン」(還元熔融野生植物ミネラル・オルターカタログ2013年8月1週号参照)を配合しています。有機ココアで飲みやすく、マグマンで成分の酸化を防いでいます。

通常、粉末化する際にはデキストリンなどの化学的な賦型剤を使用することが一般的ですが、「いのちのお守り」では一切化学薬品を使用していません。かつて私が「食べものは食べもので作られるべきである」と言った言葉を大切にいただいているためです。

## (有)アロエランド 糖流アロエ茶 いのちのお守り

### ●原料

- カワラケツメイ .....(有)アロエランド自園 農薬不使用栽培(静岡県産) ☆☆☆
- カキドオシ .....同上 ☆☆☆
- ピワ葉 .....同上 ☆☆☆
- アロエ果肉 .....同上 ☆☆☆
- 有機ココア .....桜井食品
- マグマンBIE原末 .....還元熔融野生植物ミネラル (オルターカタログ2013年8月1週号参照)

### ●製造工程

- 1 カワラケツメイおよびカキドオシ 採取(刈り取り)後、洗浄、陰干し、乾燥し、冷蔵庫保存後粗粉碎、焙煎、微粉碎加工
- 2 ピワ葉 採取後、洗浄し、粗粉碎し、陰干し、微粉碎加工
- 3 アロエベラ 採取後、洗浄、トゲ取り、皮むき、果肉を洗浄したあと、フリーズドライ後、粉末化
- 4 カワラケツメイ粉末、カキドオシ粉末、ピワ粉末、アロエベラ粉末、有機ココア、マグマンを混合、分包



カワラケツメイ



カキドオシ

### アロエベラについて

アロエは、昔から「医者いらず」の愛称で親しまれ、信頼されてきた人類の代表的な薬草で、その種類は500種にもおよびます。その内の一つであるアロエベラは、「真実のアロエ」「神秘的薬草」と表され、さまざまな脚光を浴びてきました。そんなアロエベラの最大の魅力は、非常にネバネバとした内汁液(ジェル)です。これは山芋や納豆などにも含まれるムチンと呼ばれる植物性高分子多糖体が多く含まれているため、消化吸収を高める他、皮膚や筋肉の若さを保ち、生殖能力を高めるなど老化防止の働きがあります。これには免疫力を高める効果もあり、全ての病気の予防と共に老化を遅らせ、美しく健康的な生活を送るための最も大切な要素であるといえます。その内汁液には人間にとって欠くことのない必須栄養素約50種類のうちの大部分を含んでいます。そのすぐれた栄養バランスにおいては、他に類を見ない植物とされています。

参考文献:健康双書「船瀬俊介の民間茶薬効事典」

### カワラケツメイについて

河原、野原、道ばたなどに野生する一年草です。葉がネムの木に似ており、お茶代わりに用いる事から「ネムチャ」と呼ばれ、ひろく親しまれて活用されています。茎葉は少量のアントラキノン類やフラボノイド類などを含みます。

又、種子が人間の腎臓の形をしているため、弘法大師が「ジンソウ草」と呼んだとも伝えられています。腎臓は尿の排出をつかさどる臓器ですが、その名の通り利尿作用があるため、身体がむくみやすい人や便秘がちの人などに、大変喜ばれる野草です。

参考文献:農文協「自分でつくる健康茶」

### カキドオシについて

シソ科のつる性多年草で、平地から低山地までの日当たりの良い野原や林縁、道ばた、庭先などに広く自生します。古くから「カントリ草」と呼ばれ小児の疳や虚弱体質に利用されてきました。ウルソール酸、リモニンなどを含み、利尿作用を促進したり、血糖値の上昇を抑えるため、糖尿病の改善、そして肝臓機能の促進に効果・効能があるといわれています。他にも、強力な利尿作用が得られる事から、結石の予防に使われていたり、滋養強壮に効果があるとされています。そのため健康雑誌などでも広く紹介されるようになり大切な民間野草の一つです。

参考文献:農文協「自分でつくる健康茶」

### ピワの葉について

びわの葉は、古くは3000年も昔のお釈迦様の経典に見られ、『樹は薬王樹、葉はどんな難病奇病でもたどころに治す無憂扇(むゆうせん)である』と記されています。実際びわの葉には、抗がん作用、鎮痛作用、殺菌作用、血液浄化作用があるとされています。

びわの葉に含まれるアミグダリン(ビタミンB17)は、がん細胞を攻撃し破壊する効果があるとされ、治療薬として臨床応用されています。顕微鏡で見るとがん細胞が殺虫剤をかけられたように死んでいく様子がわかるそうです。また、血液浄化作用についても60年以上前に大学教授の実験によって実証されています。

参考文献:健康双書「船瀬俊介の民間茶薬効事典」